

きぼうのいえ ニュースレター



2022年 夏号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ
〒111-0022 東京都台東区清川2丁目29番12号

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525
E-Mail：kibounoie777@mbr.nifty.com
ホームページ：http://www.kibounoie.info

終の棲家のさきに

理事長 下条 裕章

この世に生きる人びとの終の棲家であろうと生まれたきぼうのいえ。これまで多くの人々がここに迎えられ、またここから送り出されてゆきました。それは、入居者として、また心の思いと祈りを共にしてくださる仲間、あるいはボランティア、スタッフとして、この家に関わってくださる方々がこれまでずっといらしてくださったからなされてきたことです。

だれにも「未来」のことは見通すことはできません。しかし未来に思いを巡らすことができないわけはありません。すべての人に明日があると信じているからこそ、私たちは今日を、今を、それぞれが生きたいように生きることができるのです。それは「未来」ではなく「将来」を見据えているからだと思われたいことがあります。今とは直接つながっていない未来に関わるのではなく、今につながる未来との接点として、将来にきている瞬間をどう生きようとするかということだからです。

きぼうのいえは、将来にむかって、今まさに対面している時間を、ひと時ひと時を大切にしながら、その時を心に宿る希望のままに過ごそうとする人たちの集まりでありたいと願っています。そのために、その瞬間に生きる命があることを何よりも大切に、その重さをそのままに感じようとするのを忘れないでいたいと思います。

先日久しぶりに、いつもお参りする近くのお墓でなく、信州伊那に備えられているきぼうのいえのもう一つの墓所に、納骨をし、お墓参りをしてきました。雨の季節ということでしたが、晴れ間に恵まれて、山川の恵み豊かな景観を味わいながら祈りの時を過ごさせていただきました。空に日差しを眺めながら、これまできぼうのいえに過ごされた方たちのことを想っての黙祷の時は、またこの墓所が整えられて「はかない世にあるきぼうのいえが、墓あるようになった」などと冗句を交わし合った関係者の笑顔を想い起こさせるときともなりました。そして、この世の命の終焉のしるしともなる墓はまた、その先にある永遠の命への道しるべ、生死を超えた次の瞬間のおとずれる新たな将来・永遠の命のはじまりへの希望のしるしともなり得ると思えました。

日々私たちにおとずれ続ける新しい「今」という時にしっかりと根差して、今まさに向かおうとする時・将来にしっかりと顔を向け、生死を超えて未来につながってゆく一人一人の今のひと時ひと時をこれからも大切にしつつ、みなさまのお祈りとお支えをいただきながらきぼうのいえの歩みを続けてゆきたいと願っています。

「モーニングおやじ」

「西郷さんモーニング行くかね？」

「行きたいね～」

「お金あるかね？」

「ないね～」とベッドの上で指の欠けた右手を動かして、「その棚の上のバッグに通帳はいってるから、銀行寄っておろすといいね～」

「あっ、これだね」(デイサービスの連絡帳だけど・・・)——という毎度お決まりの会話が始まって「モーニング娘」ならぬ「モーニングおやじ」2人は、スタッフに見送られながら「きぼうのいえ」を後にして、コーヒー道中にいそしむのであった。

月2～3回、数年間、車椅子の西郷さんを連れ出して、あちこちの喫茶店で一緒にモーニングを楽しむのが、ボランティアとしての自分の役割であった。

浅草寺や都庁や清澄公園や江戸東京博物館に行ったこともある。が、西郷さんの一番のお気に入り、やはり喫茶店でのコーヒータイムであり、中でも常連だったカフェ「キャリオカ」の窓際のテーブル席に座ることであった。

不思議に思ったのは、こんなにコーヒーが好きなのにサーブされたコーヒーにたっぷりのガムシロップと、これでもかというくらいのミルクを注いでいたことである。

(ああ、西郷さん、コーヒーの香り、台無しに・・・)

西郷さんが本当に楽しんでくれているのかどうか、いつも疑問に思っていたが、思い返してみると「そろそろ帰ろうか？」と言い出すのはいつも自分のほうで、西郷さんから切り上げることはなかった。

葬儀場で西郷さんを送る日に、キャリオカに寄ってコーヒーとハンサムをテイクアウトした。棺の中の花の間に並べた。(きっとこれで成仏するだろう・・・)

その夜、明け方の夢で西郷さんが現れた。

203号室のベッドの中から、何か言いたげな表情でこちらを見つめている。

(何か言い残したこともあるのかな?)

——と思ってハタと気が付いた

コーヒーにガムシロップとミルクをつけるのを忘れていた。(Shio)



西郷さんだ～い好き号

きぼうのいえのアイドル、西郷さんが3月に旅立ちました。
スタッフ、ボランティアで思い出を綴りました。

西郷どん！一番好きなのなあに？

- ① パチンコ
- ② 喫茶店でモーニング
- ③ 「北国の春」を熱唱
- ④ 女の人

答えは簡単！④でしょう？

なぜなら...

ある日、

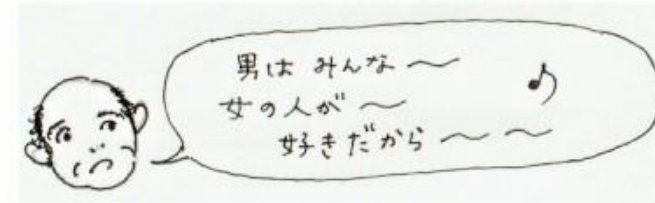
訪問リハビリの先生が若い女性にチェンジ。

がぜん張り切る西郷どん。満面笑顔でやる気満々。

またある日、

選挙にお出かけ。だれに入れるかは決まってる？

「女の人がい～ね～」さらに「若いのがい～ね～」



笑顔 MAX



忘れじのまなざし

私が初めて西郷さんとお会いしたのは、2021年春の日のことでした。

4月1日、私が、きぼうのいえで働き始めたとき、西郷さんはご入院中で...

3週間の時を経て、様々な伝説に彩られた西郷さんに、ようやくお会いすることが出来たのでした。

あの時のことを思い出すと...「西郷さんのまなざしの磁場に、心が吸い寄せられるようであった。」...とでも、言い表せるかもしれません。

深くて、優しい、ユーモアを湛えたまなざしに、私は魅了されました。

「目は心の窓」と、言われますが、本当にそうなのだな...と。

多くの言葉を弄しても、伝えることのできないものが、西郷さんのまなざしにはありました。

その人の前で、私も、雑多なものを排して、正直でありたいと願ったけれど、さて、どれくらい出来ていたのかな？

西郷さん、徒然語り、下手な歌を、いっぱい聞いてくれてありがとうございました。

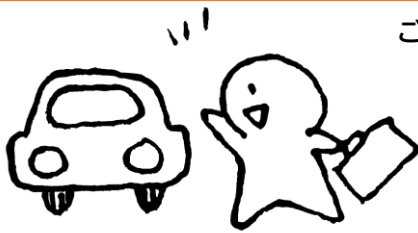
千昌夫の「北国の春」練習するから、また聞いてくださいね。 福浦 陽子

私は月に一度、ボランティアで「きぼうのいえ」へ伺っていました。午前中、入居者さんのお部屋のゴミを回収した後、西郷さんと喫茶店「キャリオカ」へモーニングしに行くのが、いつものパターンでした。西郷さんに車椅子に座ってもらい、スタッフさんに見送られて、私が車椅子を押して、アーケードが印象的な「いろは会商店街」を西郷さんと通り抜け、喫茶店「キャリオカ」へ辿り着きます。この「いろは会商店街」を通るとき、ここにお店を構える雑貨屋の店員さんや、訪問看護ステーション・コスモスのスタッフさんから、西郷さんは、よく笑顔で声をかけられていました。「西郷さん、いまから喫茶店へ行くの?」「西郷さんに会えて嬉しい!」少し誇張して言えば、ファンがスポーツや芸能界のスターへ憧れの心を抱きながら話しかける姿にも重ね合わせることができます。そして、みなさんがその憧れの心を素直に表すことができるのは、西郷さんが柔和なお人柄で、周りの人が安心して一緒にいられる方だからでした。それがこのお声かけによく表れていました。

また、喫茶店「キャリオカ」での西郷さんとのひとときも豊かなお時間でした。西郷さんはトーストとサラダ、ホットコーヒーのセットをゆっくりと味わいながら召し上がっていました。故郷のお話や東京での暮らしのことをゆっくりとお話してくださいました。たまにパチンコの話もよくしていましたね。決まり文句のように「あそこは出さないからなあ」と笑顔で話している姿を今でも思い出します。西郷さんはいつもニコニコしていました。西郷さんの人生のなかで辛さや悲しさ、そして、悔しさも当然あったでしょう。しかし、対面する人にいつもニコニコしながらお話しする姿、誰かの悪口を言わない姿、それは「感謝の人」を体現していました。

私はそのような西郷さんに出会えて、心より感謝しています。そして、西郷さんとの思い出を、入居者さんやスタッフさん、また、ボランティアの方々とは分かち合うときを心待ちにしています。西郷さん、ありがとうございました。 藤田 誠





ご近所さん

西郷さんは以前、明治通り沿いに住んでいました。そこでは毎日タクシーをひろい、モーニングと一円パチンコに行っていました。きぼうのいえに来て間もなく「こないね〜」とタクシー待ち。きぼうのいえの前は、タクシーを流していません。「大通りまで出してみよう」と、歩き始めて間もなく、歩けずにギブアップ。そこに通りかかったご近所さん。あれよあれよという間に

きぼうのいえから車椅子を。そして、防弾ガラスの嵌ったドアからは椅子が運ばれ「座って下さい」。助かった〜。このご近所さん、ちょっと前までは道端に座ってチンチロリン。そして今でも「名前は言えませんが」とチリシに包んでご寄付を持って来て下さる方がおります。ご近所さんありがとう。

その節はお世話になりました。西郷

令和3年度決算報告書

※単位：円

<収入の部>		<支出の部>	
科目	決算額	科目	決算額
一般寄付金	10,668,148	人件費	31,313,648
教会寄付金	557,646	修繕費	1,293,160
受取助成金	14,750,150	厨房費	3,058,299
事業収益	29,740,325	水道光熱費	2,702,401
その他収益	1,208,429	その他諸経費	7,712,648
総計	56,924,698	総計	46,080,156

今年度の次期繰越正味財産額は 158,507,127 円でした。皆様のおかげで日々つつがなく働くことが出来ました。加えて、きぼうのいえで過ごすことで、優しさを取り戻していると言えるかもしれません。泣き、笑い、怒り、ここでは、目いっぱい愛の中で働く素晴らしさを実感します。スタッフ一同心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

(事務局 藤堂)

きぼうのいえでは、私どもの活動にご賛同頂ける皆様方に、ご支援・ご寄付をお願いしています。

振り込み方法は ①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金 の3つがあります。

きぼうのいえの運営へのご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※ご送金にあたってのお願い： ご支援・ご寄付をくださった方々のお名前の公表の可否をお伝えください。

<p>① 郵便振替の場合 郵便振替番号： 00190-6-388670 名義：きぼうのいえ後援会</p>	<p>② 銀行振込の場合^(※1) みずほ銀行 三ノ輪支店 普通 口座番号：1284037 名義：特定非営利活動法人きぼうのいえ</p>	<p>③ インターネット募金 ホームページからアクセスして、 カード決済することもできます。 http://www.kibounoie.info/index.html</p>
--	--	--

※1 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

寄附金受領証明書の発行について

きぼうのいえは認定NPO法人です。認定NPO法人に対するご寄付は、寄附金控除（税額控除）の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附受領証明書は、ご寄附の都度発行させて頂いております。

寄附受領証明書の再発行はできませんので、ご了承ください。